

蔵出しお宝ニュース

— 第 54 号 —

三原市歴史民俗資料館では、所蔵資料の本格的な整理・展示のリニューアルに取り組んでいます。本紙では、資料館内で長らく眠っていた三原市ゆかりの貴重な資料の解説と行事の案内・紹介などを随時行って参ります。

三原神明市展を開催中

平成 28 年 1 月 18 日（月）から 2 月 14 日（日）まで〔ただし、2 月 11 日（木・祝日）は休館〕、当館 1 階展示室で「三原神明市展」を開催いたしております。三原神明市は、備後路に春を告げる祭りとして 450 年以上の伝統を誇っています。



青木充延著『三原志稿』によると、かつては正月 14 日に行なわれていましたが、現在は 2 月の第 2 日曜日を含む金・土・日曜日に行われ、今年は 2 月 12 日（金）～14 日（日）です。

神明市では、今やシンボルとなっている日本一の大だるまが鎮座します。元々は東町四丁目町内会が「だるまくじ」を販売する目印に、昭和 25（1950）年頃から設置したものです。

現在の大だるまは 4 代目で、歴代大だるまの古写真も資料館で見えていただくことができます。

今回の三原神明市展では、昭和 30 年代に和久原川を渡って東町に入ったところにも飾られていた大だるまの古写真パネルなども展示しています。大変珍しい資料です。ぜひご来館ください。

（左上）三原神明市展の様子

（左下）東町に入ってすぐのところにも飾られていた大だるまの古写真

うるし

漆ワークショップを開催します

平成 28 年 2 月 6 日（土）に、三原市歴史民俗資料館文化講座「漆ワークショップーオリジナルの箸を作ろうー」を開催します。

英語の「JAPAN」には日本という意味の他に、漆器という意味があり、世界的に知られる日本の工芸品の代表格と言えます。

生活の中に漆器はたくさんあります。中でも広島県では三原市で製作を続けた^{たかなかそうろく りゅうじ}高中惣六・隆司親子、現在活躍されている^{たしろあきお きょうこ}田代昭夫氏・京子氏夫妻、広島市の^{きんじょういつくさい}金城一国斎氏による漆芸作品が有名です。

今回の講座では、日本工芸会正会員の田代昭夫氏を講師にお迎えし、オリジナルの箸を作っていただきます。実際に漆塗りを参加者が体験することで、日本の伝統文化を身近に感じていただき、併せて保存・継承を図ります。



(上) 昨年度の文化講座の様子

おき どこ しゅん じゅう
置 床 春 秋



掛物 浅野 静洲 筆

達磨図画賛

花入 薄端

花 季のもの

三原市歴史民俗資料館 文化講座

漆ワークショップ

ーオリジナルの箸を作ろうー

日 時：平成 28 年 2 月 6 日（土）

10 時 00 分～12 時 00 分

13 時 30 分～15 時 30 分

講 師：田代 昭夫

会 場：三原市歴史民俗資料館 1 階ロビー

受講者：各 10 名（申し込み先着順）

参加費：1,700 円

（材料費・保険料・送料など）

主 催：三原市教育委員会

申込先：〒723-0014

三原市城町一丁目 2 番 1 号（城町庁舎 2 階）

三原市教育委員会 文化課 文化財係

TEL 0848-64-9234

FAX 0848-67-5912

発行 平成 28（2016）年 2 月 4 日

〒723-0015 三原市円一町二丁目 3 番 2 号

三原市歴史民俗資料館

TEL 0848-62-5595

※本冊子に掲載の写真などは、許可なく転用なされないようお願い申し上げます。